

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

学校評価表作成につい

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立七山小中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度より県の英語教育の研究指定を受け、「国際理解」を大きなテーマとして小中ともに校内研究に取り組んできた。小学校においては、全職員の授業公開、講師を招いての授業研究会を行い、指導法の工夫改善を行ってきた。中学校においても、総合的な学習を中心に年間計画の見直しを行い、各教科ではコミュニケーション力の育成を力点において実践に取り組んでいる。令和5年度は、小中ともに児童生徒が学んだことを発信できる場を工夫していきたい。 コロナ禍の中、これまでリモートや人数を制限しながら行ってきた行事を、工夫しながら徐々にもの形に戻っていった。縦割り班での清掃活動や、なわとび大会、全校レクを実施することができ、児童生徒も小中一貫校のよさを実感できている。今後も児童生徒会活動を中心にした自治的活動の充実を図りたい。 生徒指導面においては、定期的なアンケートと個別面談を実施し、丁寧な対応を行ってきた。 今後も総合的な学習で地域のよさを再認識させるとともに、教科指導や特別活動で表現力やコミュニケーション力を養い、自信をもって自らの考えや意見を発信し、行動できる児童生徒の育成に努めたい。

2 学校教育目標	<p>「感謝の心を持ち、自立に向かう子どもの育成」</p> <p>～お互いを「思いやり」、ひとりひとりが「輝き」、小中一貫教育を通して自ら学び・考える力を伸ばし、自己実現を目指す～</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 学力向上・外国語教育の充実(小) ② 生徒指導と心と体の教育の充実 ③ 志を高める教育
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標 (数値目標)					
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを図ろうとする必然性のある場面を取り入れながら、授業構成を工夫する。 バックワードデザインによる単元計画、及びゴールの明確化を図る。 一人一授業公開を計画的に実施し、職員の実践意識を高める。 朝のスキルタイムにおいて、国語、算数・数学、英語の基礎的な学習内容の定着、習熟を図る。 				
	○外国語教育の充実(小)	○外国語でのコミュニケーションを図ることに楽しさを実感している児童を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> 必然性のあるあてを設定し、言語活動を中心ながら、児童が生き生きと活動できる授業構成を工夫する。 ALTや非常勤講師とのT.T、中学校英語教諭との連携を図り、外国語活動、外国語科における授業展開を工夫する。 小中連携の観点から、児童生徒会活動の中にも国際理解を意図した取組を導入する。 教員同士の授業参観や研修報告などを行い、校内研究の充実を図る。 				
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権について真剣に考えることができる。(90%以上) ○道徳の授業で自分の考えを持ち、発信することができる。(90%以上) ○他者の多様な考え方をしっかりと聞くことができる。(90%以上)	<ul style="list-style-type: none"> 各ブロック(1～3年、4～6年、7～9年)ごとに人権教室を月1回程度に実施し、感想等で振り返る。 考え議論し、高めあう道徳授業の実践を進める。 学年の発達段階や学級の特性に適切した人権感覚を醸成するために全教職員で人権教育を徹底する。 				
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの解決、解消(100%)	<ul style="list-style-type: none"> 「Q-U」、「いじめアンケート」、中学生に「心のアンケート」を実施し、児童生徒理解に努める。 日常の児童生徒観察に努め、問題行動に対してチームで早期に対応するとともに、保護者との連携を図る。 				
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の自己肯定感を高めるために、学級や学校行事の中で児童生徒が活躍できる場を設ける。 児童生徒が互いを認め合い、協力し合う集団作りに努める。 9年間を見通した特別活動を計画し実施する。(キャリア・パスポートの活用) 6年生の卒業プロジェクトや9年生を送る会を実施することで、感謝の気持ちを伝えたり将来へ向かう志を持たせたりする。 				
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上(小学校60%以上、中学校80%以上の数値で学校の実情に応じて設定) ②規則正しい生活を送っている児童生徒が80%以上 ③「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間の運動場、体育館の割り当てをし、施設を有効活用させることで、進んで運動する場を設定する。 なわとびやマラソン大会等の競技会を催し、そこに向けた練習期間を工夫する。 9年間の発達段階に応じて、生涯健康な生活を送れるよう基本的な生活習慣を身に付けさせる。 食事に対する意識と摂取栄養素に対する知識を高めさせ、好き嫌いをなく、マナーを守った食事ができるようにする。 				
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	<ul style="list-style-type: none"> 各職員が毎日及び月の勤務時間を把握できるように、業務記録管理ソフトの有効活用を図る。 計画的休暇取得の推進。 部活動一斉中止日及び定時退勤日の設定。 効率的な会議の実施と整理整頓による業務の効率化。 				

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)					
◎志を高める教育	○地域のよさを知り、言語や文化に対する理解を深める活動の充実	○各教科の授業で、国際理解につながる学習内容を取り入れる(80%以上) ○生徒の、言語や文化に対する視野を広げる。(80%以上)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方や、外国の言語や文化に詳しい方を講師として外部から招聘し、講演を聞く。 異なる文化の良さや、自国や地域の良さを理解し、発信する活動を工夫する。 				
○危機管理	○安全・安心な教育活動の推進	○緊急連絡体制としての学校メール登録100%(全保護者)とHPの活用	<ul style="list-style-type: none"> メール登録の確認を確実にし、未登録者や受信できない保護者への連絡方法を随時確認する。 ホームページの更新を随時行う。(1週間に1回) 実態に応じた実効性のある避難訓練の実施。 				

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--